

地域を越えた歴史文化の視点

### 33. 秋祭りと獅子舞

【ストーリー】

「獅子どころ」と言われる播磨地域のなかでも特に旧赤穂郡では獅子舞が盛んである。赤穂市内 39 地区のうち、秋祭りで獅子舞を奉納している地区は 25 あり、残りの地区も、かつて実施していたか隣の地区に舞ってもらっていたというから、本来は、すべての地区の秋祭りに獅子舞があったと言える。

獅子舞のうち、獅子と同様重要な役割を占めるのがハナダカ（天狗）で、各地区の獅子舞では行列の先頭に立ち、場を浄め先導する役割を担う。さらにカラコ、オタヤン、ボンサン、サル、キツ

ネといった地区ごとに多様な「役」が登場し、それぞれ特徴のある舞が奉納される。

赤穂では、秋祭りの 1 ヶ月以上前から各地区で練習が始まり、幼児から大人までが共に練習し、その結果、地区内において顔の見える関係が形成され、地区コミュニティが保たれている。その名残が「頭人（当人）」と言われる制度であり、現在も一部の祭りに残っている。

また、瀬戸内海に面した赤穂らしく瀬戸内三大船祭の一つに数えられる坂越の船祭（国重要無形民俗文化財）など、多様な祭りが見られる。



坂越の船祭  
(大避神社／坂越)



赤穂八幡宮獅子舞  
(赤穂八幡宮／尾崎)



塩屋荒神社屋台行事  
(荒神社／塩屋)



鳥撫荒神社獅子舞  
(荒神社／鷓和)



東有年・八幡神社頭人行事  
(八幡神社／東有年)



西有年獅子舞  
(大避神社／西有年)



中山獅子舞  
(大避神社／中山)



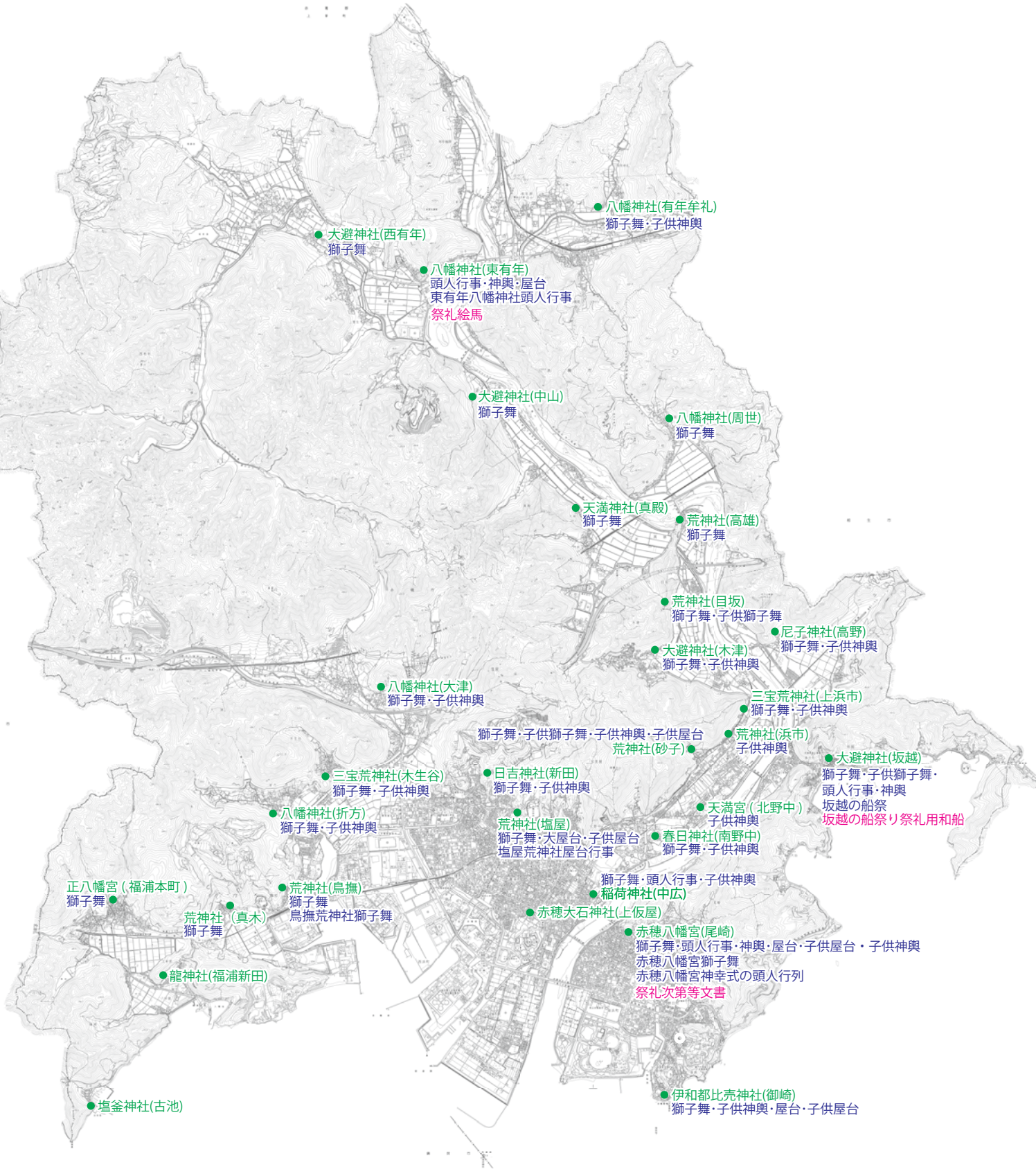
有年牟礼獅子舞  
(八幡神社／有年牟礼)



有年原獅子舞  
(須賀神社／有年原)



真殿獅子舞  
(天満宮／真殿)



凡例	●もの	●場	●こと
----	-----	----	-----